

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	防災備蓄倉庫設置事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	鶴巻 浩二			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	食糧、飲料水及び生活必需品を入手できなくなった市民等に対して配給する。
事業内容	主要な避難所となる小中学校の余裕教室の利用や、他の市施設等に防災備蓄倉庫を設置する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成3年度に本事業を開始したが、平成23年3月11日の東日本大震災を契機として備蓄に対する市民の要求が高まり、この傾向が続いている。一方、近年、児童数の増加により、備蓄倉庫新設のための余裕教室確保が困難となる状況も発生しており、外付けのコンテナタイプの倉庫を設置する傾向がある。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		防災備蓄倉庫整備済件数	26	31	32	件	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						コンテナタイプの倉庫を整備した。これにより市内32棟の備蓄倉庫が整備され、今後も備蓄計画に基づき食糧等の購入を図っていく。
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		27,952,716	33,495,062	24,421,565			
事業費(b)(円)		24,497,716	29,730,062	20,989,065			
うち一般財源		18,797,716	22,230,062	12,589,065			
職員給与費(c)(円)		3,455,000	3,765,000	3,432,500			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	備蓄計画に基づき備蓄倉庫及び備品を整備する。また、国費の導入を図る。	取組の課題	小学校における生徒数の増加に伴い、余裕教室の倉庫使用についての検討が必要となっている。
今年度(H28)に実施した取組	余裕教室含め、市内の全小中学校に備蓄倉庫を整備した。	今後の改善計画	現状に見合った備蓄計画の見直しに努めるとともに、今後も各学校と協議し倉庫整備を進める。